

TCM
池袋キャンパス
開設100周年

東京音楽大学

学内

第九

演奏会



指揮：広上 淳一
©Masaaki Tomitori

ソプラノ：新海 実咲

アルト：森河 和音

テノール：立道 侑也

バリトン：我妻 直輝



2024.11.23 (土・祝)

東京音楽大学 100周年記念ホール
(池袋キャンパス)

14:00 開演 (13:15 開場)

全席指定 ¥ 1,000



2024年10月7日(月)10:00より一般予約受付開始

東京音楽大学チケットサイト▶ <https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円(消費税を含む)がチケット代とは別途かかりますので、ご了承ください。

※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。

※やむを得ぬ理由により、予告なく、出演者、曲目等変更の可能性がございますので、ご了承ください。

※乳幼児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏課までお問い合わせください。



当公演は、後日、東京音楽大学 演奏会情報チャンネルにて動画配信の予定です。

◀東京音楽大学演奏会情報チャンネル▶

指揮：広上 淳一 Junichi Hirokami

ソプラノ：新海 実咲 (修士2年) Misaki Shinkai

アルト：森河 和音 (修士1年) Kazune Morikawa

テノール：立道 侑也 (修士1年) Yuya Tatemichi

バリトン：我妻 直輝 (学部4年) Naoki Wagatsuma

管弦楽：東京音楽大学シンフォニーオーケストラ (Aオーケストラ)

合唱：東京音楽大学合唱団

(合唱指導：志村 文彦、杉野 正隆、藤牧 正充、浅井 隆仁)

尾高 惇忠 / 「音の旅」(オーケストラ版)より

1. 小さなコラール、2. 森の動物たち、4. 優雅なワルツ、6. エレジー、15. フィナーレ～青い鳥の住む国へ～

尾高 惇忠 /

合唱組曲「春の岬に来て」

混声合唱とオーケストラのために より

1. 春の岬に来て、2. 鶯のうへ、7. 子守唄

L.v. ベートーヴェン /

交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付き」

【お問い合わせ】演奏会お問い合わせ窓口 TEL. 03-6379-3788 (10:00~17:00 平日のみ)

【主催】東京音楽大学 【後援】豊島区



©Masaaki Tomitori

指揮：広上 淳一 *Conductor : Junichi Hirokami*

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。2008年より京都市交響楽団常任指揮者、14年よりミュージック・アドヴァイザーも兼務。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。20年より常任指揮者兼芸術顧問、14年間にわたり京都市交響楽団と共に輝かしい時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



ソプラノ：新海 実咲 (修士2年)

Soprano : Misaki Shinkai

東京音楽大学声楽専攻卒業。第42回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門大学生の部、第2位。第39、40回草津夏季国際音楽アカデミー、ジェンマ・ベルタニョリ氏のマスタークラスを修了。大学院修士課程オペラ領域1年時、東京音楽大学給費奨学生に選出され奨学金を授与。声楽を、釜洞祐子、緑川まり、ウリアム・マティウツィ、大島智恵美の各氏に師事。現在、東京音楽大学大学院修士課程オペラ領域2年に在学中。



アルト：森河 和音 (修士1年)

Alto : Kazune Morikawa

東京都出身。東京音楽大学卒業。現在、同大学院1年次に在籍。第25回日本演奏家コンクール声楽部門大学生の部特別賞受賞。2023年度オーディション合格者によるソロ・室内演奏会に出演。2023年度学内「第九」演奏会にアルトソリストとして出演。2024年度大学給付型奨学金を受領。これまでに菅有実子、藤井奈生子、加納里美、橘洋子の各氏に師事。



テノール：立道 侑也 (修士1年)

Tenor : Yuya Tateuchi

埼玉大学教育学部を卒業後、埼玉県の小学校で教諭を務める。現在は、東京音楽大学大学院、独唱研究領域に1年次に在籍。これまで、声楽を故・渡邊誠、渡辺正親、志村文彦、佐野成宏の各氏に師事。



バリトン：我妻 直輝 (学部4年)

Baritone : Naoki Wagatsuma

2002年8月生まれ、15歳より声楽を始める。第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門大学生の部第1位。学部3年次東京音楽大学学内「第九」演奏会にてバリトンソリストとして出演。現在東京音楽大学声楽特別演奏家コース4年次に在籍。これまで声楽を星洋二、ヴォイストレーニングを黒川和伸の各氏に師事。

東京音楽大学シンフォニーオーケストラ (Aオーケストラ)

Tokyo College of Music Symphony Orchestra

長い歴史に培われた伝統ある東京音楽大学シンフォニーオーケストラは、東京芸術劇場で毎年「定期演奏会」を行っているほか、地方都市で開催される演奏会にも出演し好評を博している。海外公演はこれまでに30余りの都市で行っており、なかでも2009年春(指揮：広上淳一教授)、2012年春(指揮：小林研一郎名誉教授)のヨーロッパ公演では満員の観客を魅了する演奏を披露した。本公演に出演のAオーケストラは「定期演奏会」に出演しているオーケストラとは別の団体で、2021年11月に本学学生ソリスト、合唱団とともに、広上淳一教授指揮による学内「第九」演奏会に出演。以降、広上教授指揮のもと、演奏者すべて本学学生による「第九」演奏会を毎年開催している。2024年度も11月に本学100周年記念ホールにて演奏を予定している。

合唱：東京音楽大学合唱団 *Tokyo College of Music Chorus*

(合唱指導：志村 文彦、杉野 正隆、藤牧 正充、浅井 隆仁)

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。

日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。他に2021年6月に「めぐろで第九2020+1」、2022年8月に「フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2022」に出演。2023年には日本フィルハーモニー交響楽団「クルレヴゴ」「第九」「道化師」に出演。合唱指導は2024年度より、志村文彦、杉野正隆、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。

会場案内

東京音楽大学 池袋キャンパス

100周年記念ホール(A館)

東京都豊島区南池袋3-4-5

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

JR、私鉄、地下鉄「池袋駅」東口

または

JR「目白駅」より徒歩約15分

副都心線「雑司が谷駅」1番出口、

都電荒川線「鬼子母神前駅」より

徒歩約5分



東京音楽大学主催演奏会 運営について

東京音楽大学主催演奏会では、感染防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認の上、マスク着用にてご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを旨とするものとします。



3. すべての人に健康と福祉を
演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。



4. 質の高い教育をみんなに
演奏会は、生涯学習の一端を担います。



10. 人や国の不平等をなくそう
演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。



11. 住み続けられるまちづくり
演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。



16. 平和と公正をすべての人に
演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。



17. パートナリシップで目標を達成しよう
演奏会には、大勢のひととの協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を成就させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。